

日本混相流学会混相流シンポジウム 2018 講演発表募集

【主催】 日本混相流学会

【共催】 東北大学

【協賛】 (予定) 化学工学会、可視化情報学会、火力原子力発電技術協会、空気調和・衛生工学会、計測自動制御学会、資源・素材学会、石油学会、ターボ機械協会、土木学会、農業農村工学会、日本ウォータージェット学会、日本埋立浚渫協会、日本エアロゾル学会、日本機械学会、日本空気清浄協会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本浚渫・空気圧送協会、日本船舶海洋工学会、日本鉄鋼協会、日本伝熱学会、日本冷凍空調学会、日本バイオレオロジー学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本ボイラー協会、日本フルードパワーシステム学会、日本流体力学会、粉体工学会、日本雪氷学会、日本雪工学会、日本液体微粒化学会、日本洗浄技能開発協会、低温工学・超電導学会

【開催日】 2018年8月8日(水)～10日(金)

【御注意】 仙台七夕が8月6日(月)～8月8日(水)に開催されますので、宿泊予約はお早めに(開催日から6ヶ月以前を推奨)お願い致します。

なお、若手研究者夏季セミナーは混相流シンポジウムに引き続き東北大学流体科学研究所(仙台市)にて開催されますので、参加予定の方は8月10日(金)の宿泊もお早めにご予約ください。

【会場】 東北大学(宮城県仙台市)

【ホームページ】 <http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2018/>

【開催趣旨】

日本混相流学会は、1987年7月に設立され、来年31周年を迎えます。日本混相流学会混相流シンポジウム2018は、2018年8月8日(水)～10日(金)の期間、東北大学(仙台市)で開催されます。本シンポジウムはオーガナイズドセッションと一般セッションから構成されており、研究成果とその討議を通じて、混相流の学理とその応用技術に関する最新の情報交換を行い、混相流研究のさらなる展開と参加者相互の活発な意見交換を目指しております。混相流は、固体・液体・気体を含む複雑流動現象であり、かつ自然界から産業プラントにまで広く見られる普遍的な流動現象です。オーガナイズドセッションとしては、混相流が広範囲の産業と密接に係わりがあることを踏まえ、環境、材料、機械、土木、原子力、化学、航空宇宙、などを横断的に含む内容を取り上げております。

このように、混相流シンポジウム2018では、混相流関連の研究そして技術開発に携わっておられる研究者や技術者ならびに混相流を中心とした最新の科学技術の進展にご関心のある方々による多数の講演発表と活発な意見交換を期待しております。どうぞ、奮っての講演発表そして参加のお申し込みをお願い申し上げます。

日本混相流学会 混相流シンポジウム2018 実行委員長
石本 淳(東北大学)

【オーガナイズドセッションのご案内】 講演募集・問合せ先

OS-1 混相流の産業利用

キーワード：混相流の応用技術、産業機械における混相流、混相流を用いた新技術

オーガナイザー：片岡 勲(福井工大)、吉田憲司(広島工大)

[片岡：kataoka@mech.eng.osaka-u.ac.jp]

OS-2 界面の物理と流れ

キーワード：ぬれ、接触角、界面張力、格子ボルツマン法、粒子法

オーガナイザー：加藤健司(大阪市大)、吉野正人(信州大)、井口 学(北大)、山本恭史(関西大)、波津久達也(東京海洋大)、伊藤高啓(名大)、瀬田 剛(富山大)、高田尚樹(産総研)

[加藤：katoh@mech.eng.osaka-cu.ac.jp]

[吉野：masato@shinshu-u.ac.jp]

OS-3 環境・食品・医療における混相流

キーワード：混合／攪拌／分離／分散／溶解／吸着、水処理、水質浄化、洗浄、膜分離、食品・化粧品・薬剤、界面、気泡・液滴・微粒子、血流、DDS

オーガナイザー：酒井幹夫（東大）、本間俊司（埼玉大）、寺坂宏一（慶応大）、太田光浩（徳島大）、林 公祐（神戸大）、土屋活美（同志社大）、松隈洋介（福岡大）

[酒井：mikio_sakai@n.t.u-tokyo.ac.jp]

OS-4 混相噴流・後流・はく離流れの流動と制御

キーワード：渦、計測、シミュレーション、制御

オーガナイザー：内山知実（名大）、祖山 均（東北大）、川原顕磨呂（熊本大）

[内山：uchiyama@is.nagoya-u.ac.jp]

OS-5 マルチスケール混相流と異分野融合科学

キーワード：機能的・反応性流動、異相界面変形と相変化科学、分裂と微粒化、ナノ粒子生成、マイクロフレイム、プラズマ流動、スケールモデリング、水素エネルギー、MHD、磁性流体、カーボンナノチューブ、極低温流体、災害リスク科学

オーガナイザー：石本 淳（東北大）、落合直哉（東北大）、姫野武洋（東大）、桑名一徳（山形大）、中村祐二（豊橋技科大）、小原弘道（首都大学東京）、高奈秀匡（東北大）、茂田正哉（大阪大）、松浦一雄（愛媛大）、伊賀由佳（東北大）

[石本：ishimoto@fmail.ifs.tohoku.ac.jp]

OS-6 微小重力下の沸騰・二相流と宇宙熱輸送システム

キーワード：重力依存性、微小重力、宇宙用排熱機器、ヒートパイプ、極低温流体

オーガナイザー：浅野 等（神戸大）、今井良二（室蘭工業大）、川崎春夫（JAXA）、河南 治（兵庫県立大）、岡本 篤（JAXA）、長野方星（名大）

[浅野：asano@mech.kobe-u.ac.jp]

OS-7 自然現象の中の混相流

キーワード：砕波、気泡連行、底質輸送、土砂投入、数値解析、計測技術、気象、火山、地震、土石流、地すべり、海洋、海洋汚染、氷海、雪氷

オーガナイザー：川崎浩司（ハイドロソフト技術研究所）、荒木進歩（大阪大）、中村文則（長岡技科大）

[川崎：kawasaki@hydro-soft.co.jp]

OS-8 粒子系混相流および粒状体挙動のモデリングとシミュレーション

キーワード：粒子・流体カップリングモデル、マルチスケールモデリング、検証技術、粒子系混相流の物理

オーガナイザー：田中敏嗣（大阪大）、原田周作（北大）、内山知実（名大）、武居昌宏（千葉大）、酒井幹夫（東大）、桑木賢也（岡山理科大）、川口寿裕（関西大）

[田中：tanaka@mech.eng.osaka-u.ac.jp]

OS-9 混相流れのダイナミクス

キーワード：キャビテーション、気液二相流、ウォータージェット、固気液流動、気泡、液滴、界面流れ、相変化

オーガナイザー：渡部正夫（北大）、杉本康弘（金沢工大）、小笠原紀行（大阪府大）、真田俊之（静岡大）

[渡部：masao.watanabe@eng.hokudai.ac.jp]

OS-10 相変化を伴う混相流の熱流動

キーワード：相変化（沸騰・蒸発・凝縮・融解・凝固）、気液・固気・固液・液液二相流&三相流、界面現象、熱伝達

オーガナイザー：大竹浩靖（工学院大）、棚谷吉郎（金沢工大）、永井二郎（福井大）

[大竹：ohtake@cc.kogakuin.ac.jp]

OS-11 マイクロ・ナノバブルの科学と技術的展開

キーワード：マイクロバブル、ナノバブル、発生器、計測法、物理・化学・電気特性、生理活性、利用技術

オーガナイザー：氷室昭三（米子高専）、赤対秀明（神戸高専）、寺坂宏一（慶応大）、秦 隆志（高知高専）、細川茂雄（神戸大）

[氷室：himuro@yonago-k.ac.jp]

OS-12 原子力分野における混相流技術と応用

キーワード：原子炉熱流動、シビアアクシデント、安全、液体金属、再処理、処理処分、中間貯蔵、輸送、拡散、計測、可視化

オーガナイザー：三輪修一郎（北大）、師岡慎一（早大）、武田哲明（山梨大）、齊藤泰司（京大）、劉 維（JAEA）

[三輪：smiwa@eng.hokudai.ac.jp]

OS-13 マイクロ・ミニスケールの混相流

キーワード：マイクロ・ミニチャンネル、バイオ、流動、伝熱、マイクロ TAS、MEMS、機能的粒子、混合、分離

オーガナイザー：武居昌宏（千葉大）、川原顕磨呂（熊本大）、関眞佐子（関西大）、日出間るり（神戸大）、元祐昌廣（東京理科大）

[武居：masa@chiba-u.jp]

OS-14 光・超音波による計測・制御とその応用

キーワード：PIV、UVP、分子タグ、気泡追跡、相分布、濃度分布、温度計測、複合計測、超音波、レーザー、超音波浮遊、有害物質除去、微粒化、マイクロ混合、振動流

オーガナイザー：村井祐一（北大）、佐藤光太郎（工学院大）、石川正明（琉球大）、木倉宏成（東工大）、岡本孝司（東大）

[村井：murai@eng.hokudai.ac.jp]

【一般セッションの講演募集テーマ】

| | |
|---------------|----------------|
| GS-1 混相流の物理 | GS-2 混相乱流 |
| GS-3 混相流の数値解析 | GS-4 相変化 |
| GS-5 界面現象 | GS-6 原子力・火力・環境 |
| GS-7 混相流の輸送 | GS-8 液体の微粒化 |
| GS-9 その他 | |

[石本：konsosymp@jsmf.gr.jp]

【講演についてのご案内】

- (1) 一般講演について、講演の採否はシンポジウム実行委員会にご一任願います。なお、軍事的、誹謗・中傷的、人権侵害的もしくは本シンポジウムの趣旨に合致しない講演はできません。
- (2) 一般講演について、1件につき講演時間10分、討論時間10分の予定ですが、件数によって多少変更がある場合もありますので御了承下さい。
- (3) 講演論文原稿は、A4用紙（26字×60行×2列＝3,120字/頁）2枚とします。原稿の形式については例年通りで、書式ダウンロードのページに掲載すると同時に講演申込者に改めてお知らせ致します。
- (4) 英文も受け付けます。英文の場合は、A4用紙（9 point、single space、double column）2枚とします。
- (5) 整理の都合上、講演題目、著者については、申込時のものから変更しないようお願い致します。
- (6) 申し込みの際は、講演題目、著者に加えて、ご希望のOS/GSセッション番号を記載下さい。なお、最終的な講演セッションについては実行委員会で調整し、他のOS/GSセッションでお願いすることもありますのでご了解下さい。
- (7) 論文特集の企画を予定しています。この混相流シンポジウム2018で一般講演発表された中から推薦された講演について、論文として日本混相流学会誌へ投稿して頂き、「論文特集：混相流研究の進展」を企画します。なお、通常の混相流学会誌論文と同一の査読手続きを行います。論文特集への掲載を希望される方は、推薦審査の都合上、原稿提出時に「論文特集への掲載希望」と申し出て下さい。

【講演申込期間】：2018年2月5日（月）～3月16日（金）

【採否通知】：2018年4月13日（金）

【原稿提出締切】：2018年6月11日（月）

【講演会の会期】：2018年8月8日（水）～10日（金）

【講演申込についてのご案内】

混相流シンポジウムのホームページ (<http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2018/>) の「講演申込」にある講演申込フォームを利用し、申込を行って下さい。申込期限は、2018年3月16日（金）です。なお、ポスター発表（+フラッシュトーク）のエントリーは学生のみとさせていただきます。口頭発表は原則として研究職・技術職・専門職の方あるいは博士後期課程学生の方の申し込みを推奨します。

- (1) 講演表題、およびその英訳
- (2) 著者氏名・所属機関名略称、およびそれらの英訳、会員資格（協賛学協会会員、学生会員、会員外）。発表形式は、「学生セッション」あるいは「口頭発表」を選択。
- (3) 著者代表者の連絡先（氏名、所属機関、所在地、電話とFaxの番号、E-mailアドレス）
- (4) 講演の概要（和文の場合100字以内、英文の場合100語以内）
- (5) 講演を希望するオーガナイズドセッションの記号または一般セッションの記号を記載。

【申込先】

E-mail: konsosymp@jsmf.gr.jp (実行委員会事務局 総務 石本 淳 (東北大学))

【参加申込方法】

ホームページ(<http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2018/>)をご覧ください。事前申込の場合は、締切期日までに参加費、懇親会費の合計額をホームページ記載の方法で支払い願います。できるだけ事前申込にご協力下さいますよう、お願い致します。

【事前参加申込期間】 2018年6月11日(月)～ 7月9日(月)

【参加費】

事前申込：正会員・協賛学協会会員 10,000円、 非会員(一般) 18,000円、 学生会員 5,000円
当日申込：正会員・協賛学協会会員 12,000円、 非会員(一般) 20,000円、 学生会員 7,000円

【講演論文集】

混相流シンポジウム 2018の参加者には、講演論文集ファイルダウンロード用アクセス権を配布致します。なお、論文集ファイルのみご希望の方は、1部5,000円でアクセス権を販売致します。

【振込先】

銀行： ゆうちょ銀行
口座記号番号： 00980-5-172977 番
口座名称(漢字)： 混相流シンポジウム
口座名称(カナ)： コンソウリュウシンポジウム

*他行から左記口座に振り込む場合には、下記情報をご指定下さい。
店名(店番)：〇九九(ゼロキユウキユウ)(099)
預金項目： 当座
口座番号： 0172977

【懇親会】

日時：2018年8月9日(木) 17:30～19:30(予定)
場所：後日ホームページにてお知らせ致します。
会費：事前申込：一般 5,000円、 学生・院生 2,000円
当日申込：一般 7,000円、 学生・院生 4,000円

【「日本混相流学会ベストプレゼンテーションアワード」の選考方法ならびに一般講演に関して】

2002年に創設された「日本混相流学会学生優秀講演賞」は、口頭発表された学生講演を対象として選考してきました。混相流シンポジウム 2015より、一人あたり数分程度のフラッシュトーク(概要説明)とポスター発表を対象として選考する形式に変更するとともに、その名称も「日本混相流学会ベストプレゼンテーションアワード」と変更致しました。多数の学生の皆さんのエントリーをお待ちしております。なお、ポスター発表のエントリーは学生のみとさせていただきます。選考はフラッシュトークとポスター発表の評価に基づいて行います。

今回の詳細が決まり次第、本誌会告やホームページにてお知らせ致します。

【問い合わせ先】

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学流体科学研究所 混相流動エネルギー研究分野
日本混相流学会 混相流シンポジウム 2018 実行委員会事務局
石本 淳
E-mail: konsosymp@jsmf.gr.jp